

経営計画

中期経営計画について

(1) 中期経営計画の概要

●当行は、「お客さまから信頼され、選ばれる銀行となる」「地域づくりに貢献する銀行となる」「地域金融サービスの活性化を図る」という基本理念を掲げ、平成20年4月から2年間の中期経営計画を策定し、具体的な取組みを行っております。

中期経営計画「変革と挑戦 Change & Challenge」

期間：平成20年4月～平成22年3月

企業メッセージ：「ベストフレンドリーバンク（気軽に相談できる銀行）」

位置づけ：株式上場を視野に入れ、企業価値の向上に注力するための2年間とする

重要課題

- ① 財務内容の健全化—自己資本比率9%以上
- ② 安定収益確保のための収益構造改革（ローコストオペレーション改革）
- ③ 早期の配当復活

(2) 経営ビジョン

「お客さまから信頼され、選ばれる銀行」
 「地域づくりに貢献する銀行」
 「地域金融サービスの活性化を図る」

経営方針

- ① ガバナンス／コンプライアンスの徹底
- ② 人材育成の強化
- ③ リスク管理の強化と高度化
- ④ 企業価値の向上

行動基準

- ① 銀行業務を通じていかに地域社会に貢献できるかを考えること
- ② 西京ファンを一人でも多く増やすこと
- ③ スピード感を持って行動すること
- ④ 求めるのではなく、自ら行動（インサイドアウト）を起こすこと
- ⑤ 銀行員としての品位とプライドを保つこと
- ⑥ 行内コミュニケーションを積極的に高めること

(3) 経営戦略—選択と集中

●当行では経営戦略における「選択と集中」をより強化し、リスク資本の配賦や経営資源の再配置に関して、大胆かつ積極的に取組んでおります。

リスク資本配賦

▶ 市場リスクから信用リスクと市場リスクへの適正配分

▶ 事業性融資にかかる間接コストの削減

経営資源の再配置

▶ 県外から県内へ

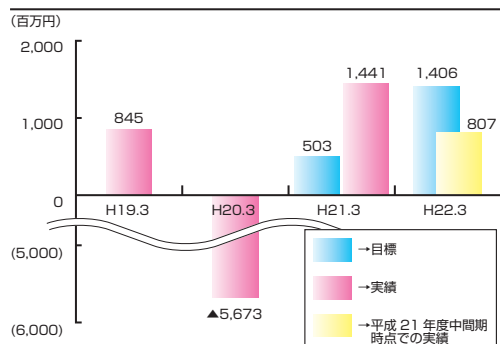
▶ 県内重点地区への集中配置

▶ 店質別ミッションの明確化

(4) 当期純利益と不良債権比率の実績と目標

●当期純利益は、平成22年3月末目標1,406百万円に対し、平成21年9月末実績807百万円と順調に推移しております。不良債権比率については、平成22年3月末目標4.5%を平成21年3月末で達成しており、さらなる改善に努めております。

当期純利益（単体）



不良債権比率（単体）

